

# 8/20~26 衆議院文部科学委員会 ドイツ・フィンランド 視察報告

メンバー 田中眞紀子委員長・笠浩史・奥村展三・本村賢太郎 (以上民主党) 馳浩・松野博一 (以上自民党)

今回の視察目的  
①ドイツの職業教育・科学技術と基礎研究・地域スポーツクラブ・文化財保護  
②フィンランドの基礎教育・PISA世界一の秘密・教職員資質向上・科学技術と新産業



## 8月21日 ベルリン(ドイツ) ツルンゲメインドスポーツクラブ視察!

奥村展三代議士とともに。ウド、ハーバー理事長から、お話をうかがう。組織は、税制優遇のある公益法人。財政の40%は会費などの自主財源。その他は、ベルリン市からの補助金、LOTOからの助成金、州からの融資。役員は皆ボランティア。役員会をまとめて運営をするため、大企業のGMだったところ推薦を受けて役員となった! 340万人のベルリン市でこういうスポーツクラブは2,000箇所。大衆スポーツの拠点。連邦政府の担当局は内務省。つまり、地域活性化の拠点でもある。各競技は独立採算性。会費は、例えば野球で年間一人3万円。クラブの維持費は年間1,000万円。会員は4,200人いる。指導者は、スポーツ協会発行のライセンス必要。過去10年間、施設整備のために750万ユーロ(一億円)投資した。

## 8月22日 ベルリン~ドレスデン(ドイツ)



## 8月23日 (ドイツ) マイセルブローラ職業学校 マイスター養成機関視察



## 8月24日 ヘルシンキ(フィンランド)

### ダイバル・ラハディ小中一貫校視察

PISA (OECD生徒の学習到達度調査) 世界一の理由は? = 読書。公立図書館ネットワーク充実。字幕スーパーで外国語番組(映画やアニメやニュースなど)を見ることができるようにした政策決定は大きい。子どものモチベーションが高まった。学校給食は無料。低学年は10時45分から、中高学年は11時から。おやつまでであり、他国との交流が少ないという民族性。教育文化省訪問。なぜ学力テスト世界一かは、集中的効率的に学校で学習するから。暗記より応用。宿題も少なく、塾も家庭教師もない。学校に権限が委ねられている。学校への立ち入り調査はない。教科書検定もない。PISAでも学校間の差異が少ない。教育予算確保と、教師の能力に尽きる。政府と組合の対立もない。教師の社会的評価も高い。教員養成6年制は資質の高い人材が得られる。小学校教師倍率は10倍。



## 8月25日 ヘルシンキ2日目 ヘルシンキ大学教員養成学科訪問

ハリ、ラポネン学科長と教員養成について意見交換。どこに住んでいても、どの学校でも、どの教室であろうとも、格差のない教育成果が義務教育には求められる。どんな困難であろうが、自分で自信を持って解決できるかどうか。自分もできる、自分もやれるという自信を持たせることは、教師の励ましや働きかけ次第。教師と子どもがいっしょに学習計画を作ること。必然的に少人数学級が必要。そのために、教室で子どもにどう対応したらよいかを大学で教える。



## 8月26日 ヘルシンキ3日目最終日

テンペリアウキオ教会。岩盤を削り貫いた土地に建設した教会。文化遺産。蠟燭を献じ、お祈りを捧げました。パイプオルガンがあり、毎日ミニコンサートが開催されている。



# 8/18 衆議院青少年特別委員会 閉会中審議で質問



## 大坂市西区の幼児虐待死事件を受けて

# 児童虐待防止問題

テーマ

馳の主張

通報を受けて48時間以内に安全確認ができなければ、警察への支援要請を義務化すべき!



「48時間、目視、安全確認」という厚生労働省のマニュアル通りやつても児童の安全を確認できなかった場合に、即座に「児童虐待の恐れのある」「支援事業」と認定して、警察の支援要請を義務化すべきではないか? マニュアル化すべきではないか? と提案する。

警察側はうなずきながら聞いてくれたが、厚生労働省は考え込んでいる様子だった。

警察は、110番通報があれば、事件としての疑いを持ち、安全確認するのが仕事。

児童相談所は、福祉的側面で、親との人間関係が損なわれないようにと配慮が働く。

その違いはどうか?

でも、子どもの命が最優先ではないのか?

警察が対応して、命に別状がなければそれでいいじゃないか。警察が介入しないで、今回のように児童相談所の中途半端の対応で死なせてしまつては、後悔が残るし、行政の怠慢。

警察と、児童相談所側が連携するのは当たり前で、むしろ、連携強化することで児童の命を守るのならば、早急にマニュアル化すべきだし、現場に徹底すべきだ。そのことを強く主張する。

## 質疑回数上位者表 (自民党作成)

議員名	質疑回数	質問主意書
馳 浩	19	65
赤澤亮正	16	4
大村秀章	15	4
谷 公一	12	3
橘慶一郎	11	31
平沢勝栄	11	0
江藤 拓	10	0
小野寺五典	10	6
加藤勝信	10	6
下村博文	10	0

\* 質問主意書1位は木村太郎(125本)

### 馳の実績 (先の国会)

自民党衆議院議員全員のなかで

- 質疑回数が第1位 19回
- 質問主意書提出数が第2位 65本

質問数が党内1番に 馳氏「野党の役割果たせた」

オウム真理教、省庁の部下なし係長、朝鮮学校無償化、日教組、夫婦別姓など幅広い問題で政府を追及。中でも筆頭理事の文部科学委員が、今年1月からの衆議院本会議と委員会では10回も質問に立ち、19回質問し、党内トップに躍り出た。馳氏は「建設的な主張で野党の役割を果たせた。次を見据え、「いつか文科も1番を目指したい」と意気込みをみせた。」と自信たっぷり。馳氏は北陸新幹線や...

2010.8/12北國新聞より